

2月号の解説「センサはWebを超える 省力化から知覚化へ」を読んだところ、50g精度の体重計を使って著者が5カ月で4kg痩せたというので、これは私も買わねば!ということできさっそくネットで購入しました。メモリが50g単位になっていて、毎日計った体重をグラフにつけるだけで痩せられるという謳い文句の体重計です。普通ならそんな謳い文句にすぐに飛びついたりもしないのですが、会誌の記事に書かれていたことに加え、前に読んでひどく感動した解説「脳とコンピュータ」(情報処理, Vol.34 No.10)を思い出し、これはきっと効果があるに違いないということで買ってしまいました。「脳とコンピュータ」によれば、人間は出力して返ってきた反応を見て初めて学習できる動物で、たとえば教科書を黙読するより音読した方が頭に入るとか、覚えたことを他人に説明することでより自分の考えが整理されるとか、とにかく出力することが重要なんだそうで、この50g精度の体重計を使ったダイエット法も毎日グ

ラフにつける、つまり出力することで自分自身に暗にプレッシャーをかけるというところがミソなわけですが、付属のグラフ用紙が2mm単位のマス目になっているところも素敵で、朝と夜の差がグラフにすると1.5cm位になるのですが、これってけっこう目で見ると「やばい」と思わせるに十分な視覚効果があるのです。これは絶対すぐに2kgは痩せられるぞと意気込んで挑戦し始めてから約1カ月になろうとしているのですが、結果はどうだったのかというと、途中増減はあったもののほとんど変わっていません。なぜでしょう。理由は分かっています、せっかく平日順調に減っていった体重も土日のぐうたら生活のせいですぐに元に戻ってしまうからです。最後の砦はやはり意志力です。しかし自分の生活習慣が分かっただけでも少しは前進したのだと思うことにして、あともう少し頑張ってみましょうか。

(後路啓子/会誌編集部門)

■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌(トランザクション)
■ 事業部門			
事業/国際	jigy@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム, 国際会議, IFIP委員会
■ 管理部門			
総務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、12月号へのご感想・ご意見を紹介いたします。まず、特集「量子コンピュータと量子計算」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■ほぼすべての記事に数式が現れ、門外漢の私には難解であった。数式を用いないと説明は難しいのかもしれないが。
(匿名希望)

■「量子コンピュータ」という言葉そのものは以前から知っていましたが、内容の詳細は今回初めて分かりました。特集全体として非常に分かりやすく説明されており、大変勉強になりました。
(菊地 誠)

■今月の特集は、以前から気になっていた分野が分かりやすく解説されていて、興味深く読ませていただきました。
(匿名希望)

■今号の特集は、量子力学・数学の知識がないと理解しづらいものであると思う。
(匿名希望)

■最近話題になっていることもあり、興味があった。ただ、論理の展開について行けない自分があり、残念でした。
(匿名希望)

■量子情報処理という流れを改めて眺めると、情報処理分野の大きなうねりを感じずにはいられません。今後の展開に目が離せません。
(平川正人)

■また量子計算の特集をやってほしいです。
(匿名希望)

■量子コンピュータの複雑な概念を分かりやすく解説しており、参考になりました。
(水野光朗)

■大変面白く読ませていただきました。「コペンハーゲン解釈」は、まだ暫定的なものであると考えている者にとって、量子コンピュータの研究がさらに進展し、その中から新たな解釈法が生まれることに強い期待感を持っています。
(匿名希望)

■量子コンピュータは普通の馴染みもなくかなり難解でしたけれども、数十年後には常識になっているでしょうね。
(匿名希望)

■素人にも興味のわくテーマであった。時間の関係です

べてを読むことができなかったのが残念である。

(匿名希望)

■名前は聞いたことがありましたが、このような世界があるのかと驚きました。量子コンピュータの原理を分かりやすく説明して下さった著者に感謝します。各論はこれからじっくり勉強してみたいと思っています。

(匿名希望)

■研究がなされていることを何年も前に知ってはいましたが、自分の専門外であり解説本なども見当たらなかったもので詳しいことは知りませんでした。現在では情報もかなり増えているようですが、今回の解説記事群は大変勉強になりました。ただ、やはり分野外の人間には難解でしたので、もう少し分かりやすいものだとより助かったかと思います。

(匿名希望)

■今回の特集号は大変興味深いものでした。残念ながら、各論を読んで理解する時間がありませんでした。

(匿名希望)

コラム「オープンソース事情『OSSはどこまで使えるのか?』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■社会科学の領域でも話題になることの多いOSSについて平易な解説がなされており、大変参考になりました。
(水野光朗)

■研究のシステムにPostgreSQLを使用しているために、非常に身近に感じた記事でした。記事の中ではOSSのチューニングのことを中心に触れていましたが、OSS普及のために大きなポイントだと思われる障害解析についても、実例を挙げながら触れていただければより広い読者の関心を得られたのではと思います。

(平島大志郎)

解説「教養としてのコンピュータ・サイエンス教育—東京工業大学での試み」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■若い学生たちがまずこのような教育を受けられるのはうらやましいと思います。QLによるアニメーションで、目に見えるかたちで体感する中で、CSの本質的なところも学べるというのがよいと思います。学生の反応と、それに対する教育者側のコメントも参考になりました。

(岩本茂子)

■現在大学ではどのようなコンピュータ・リテラシー教育が行われているのかが分かり興味深かった。普通は外部から知り得ない教師側の授業の細部にわたる工夫が述べられていた。思わず、渡辺教授の授業を受けてみたくなった。

(匿名希望)

■「おもしろい講義の秘訣は、学生に自分で何かを創造させること、そして、分かることの喜びを感じさせることである。」という部分に大いに共感しました。自分で何かを創造した経験の積み重ねが、自信を育てることにつながると思います。(匿名希望)

■コンピュータサイエンス講義の記事が参考になった。これ以外の講義のやり方などをもっと取り上げていただきたい。(匿名希望)

■大学教員として、非常に参考になりました。教育に対する新たな発想や取り組みを加速しなければと思います。(平川正人)

■教養教育の重要性が強調されている昨今、参考になりました。ただ、JABEE認定プログラムにコンピュータ・サイエンス教育をどのように組み入れるのがよいか、についても言及してほしいと思います。(水野光朗)

■大学教育の現場にいる人たちには非常に参考になる内容でした。物事の本質を限られた時間などで理解させることの重要性を再認識できました。(鹿島鉄雄)

■大学教育には、多少諦めもある者として(自身の経験&最近の若い人の面倒をみていて)、興味深く読んで。リテラシー教育についてコメントするほどの学識はないが、物理学を学んだ自分自身は、計算機を使うことは自然に身に付けてしまったように思う。(根津芳香)

その他の記事につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■連載「これからの情報処理学会」について：「21世紀社会におけるITの役割」は自分が日頃持っている問題意識を深めてくれた。ITはすでに一握りの人のものではなく、一般の人々にも深く浸透しており、社会に欠かせないものとなった。ITによる社会の変化は加速度的に進行しており、ややもすると人はそれに流されそうになる。IT分野で開発に携わる者としてどのような立場をとっていくべきかについてのよい指針となった。重みのある指摘が多かった。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■組み込みシステムのセキュリティについての特集をお願いしたい。(匿名希望)

■OpenCVのような映像処理ライブラリの紹介を希望します。(坂東幸浩)

■WiMAXなどの新しい無線環境を利用した情報システムの将来についての特集を期待します。(黒田幸明)

【本欄担当 飛田高雄, 祖父江恒夫/書評・ニュース分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。<URL: <http://www.ipsj.or.jp/somu/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax: (03)3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4803.html>



IPSJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2007年				
	論文誌「次世代社会基盤をもたらす高度交通システムとモバイル通信システム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-D.html	3月31日(土)		
	論文誌「インタラクションの理解とデザイン」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-F.html	3月31日(土)		
	論文誌「人間中心のユニバーサル/ユビキタス・ネットワークサービス」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-C.html	4月6日(金)		
	論文誌「情報洪水時代のネットワークサービス」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-G.html	5月11日(金)		
	論文誌「社会的課題に挑む情報システム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-E.html	5月15日(火)		
	論文誌「新しいパラダイムの中での分散システム/インターネット運用・管理」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-F.html	5月28日(月)		
	論文誌「イノベーションプロセスのスタディ」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-H.html	6月30日(土)		
3月14日(水)～	第147回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ICS147.html	1月19日(金)	当日のみ	北海道(ルスツリゾート)
3月16日(金)	ネットワーク生態学研究グループ第3回シンポジウム http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html			中央大学・後樂園キャンパス
3月15日(木)～	インタラクション2007 http://www.interaction-ipsj.org/	10月26日(木) 一般講演 12月19日(火) インタラクティブ・ポスター発表		学術総合センター/一橋記念講堂
3月16日(金)	第129回システムLSI設計技術・第4回組込みシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SLDM129EMB4.html	1月24日(水)	当日のみ	広島市立大学
3月16日(金)	第28回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ITS28.html		当日のみ	千葉工業大学
3月16日(金)	第20回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/EVA20.html	1月20日(土)	当日のみ	日本IBM高松事業所
3月17日(土)	第35回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/EIP35.html	1月15日(月)	当日のみ	近畿大学大阪コミュニティカレッジ
3月19日(月)～	第158回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CVIM158.html	12月26日(火)	当日のみ	鹿児島大学
3月20日(火)	第63回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/GN63.html	1月26日(金)	当日のみ	神奈川工科大学
3月22日(木)	第63回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/PRO63.html	1月22日(月)	当日のみ	東京工業大学大岡山キャンパス
3月23日(金)	第155回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SE155.html	1月31日(水)	当日のみ	化学会館会議室(御茶ノ水)
3月23日(金)	第86回情報学基礎・第60回デジタルドキュメント合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/FI86DD60.html	1月27日(土)	当日のみ	化学会館会議室(御茶ノ水)
3月28日(水)～	第178回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/NL178.html	1月19日(金)	当日のみ	名古屋大学
3月29日(木)	第105回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/OS105.html	2月2日(金)	当日のみ	沖縄県青年会館
4月上旬	北海道支部平成19年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			(株)テクノフェイス(予定)(札幌市)
4月24日(火)～	第5回教育学習支援情報システム研究グループ発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CMS5.html	3月5日(月)	4月上旬	大阪大学豊中キャンパス
4月25日(水)	東北支部平成19年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			詳細未定
5月9日(水)	東海支部平成19年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			愛知厚生年金会館(名古屋市)
5月10日(木)～	第70回音楽情報科学・第7回エンタテインメントコンピューティング合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MUS70EC7.html	3月12日(月)	当日のみ	パナソニックセンター東京 第4,5,6会議室
5月10日(木)～	第130回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SLDM130.html	3月15日(木)	当日のみ	京大会館
5月11日(金)	第123回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/HCI123.html	3月10日(土)	当日のみ	産業技術総合研究所臨海副都心センター
5月11日(金)	第112回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/AL112.html	3月11日(日)	当日のみ	岩手大学
5月14日(月)～	第159回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CVIM159.html	2月28日(水)	当日のみ	東京大学生産技術研究所
5月15日(火)	第41回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MBL41.html	3月17日(土)	当日のみ	沖縄県青年会館
5月17日(木)～	第89回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CE89.html	3月23日(金)	当日のみ	桃山学院大学(大阪府和泉市)学術総合センター
5月18日(金)	先進的計算基盤システムシンポジウムSACSIS 2007 http://www.hpcc.jp/sacsis/2007/			
5月19日(土)	第179回自然言語処理・第66回音声言語情報処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/NL179SLP66.html	3月15日(木)	当日のみ	法政大学
5月23日(水)～				
5月24日(木)～				
5月25日(金)				

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
5月25日(金)	第36回電子化知的財産・社会基盤研究会発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EIP36.html	3月15日(木)	当日のみ	国際赤坂ビル
5月25日(金)	第37回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CSEC37.html	3月20日(火)	当日のみ	キャノン(株)本社
5月25日(金)	第74回人文科学とコンピュータ研究会発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CH74.html	3月26日(月)	当日のみ	龍谷大学瀬田学舎 (滋賀県)
5月31日(木)～ 6月1日(金)	第165回計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ARC165.html	3月19日(月)	当日のみ	(株)富士通研究所 岡田記念ホール
7月4日(水)～ 7月6日(金)	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2007) シンポジウム http://www.dicom.org/2007/	3月9日(金)		三重県鳥羽温泉(予定)
8月29日(水)～ 8月30日(木)	DAシンポジウム2007 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-DA2007.html	5月7日(月)		遠鉄ホテルエンパイア
9月5日(水)～ 9月7日(金)	FIT2007 第6回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2007/			中京大学 豊田キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 2月16日 人材募集情報(2月)更新しました
- 2月5日 コンピュータ博物館設立の提言
- 1月15日 会誌「情報処理」にてカタログ同封サービスを始めました
- 12月14日 第69回全国大会 大会聴講参加・講演論文集 予約受付開始

[学会からのお知らせ]

- 2月16日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました
- 2月15日 論文誌(ジャーナル)投稿・査読の電子化について
- 2月13日 平成19年度役員等選挙「再選挙」のお願い(投票締切:3月15日)

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)
賛助会員(企業) 31,500円(〃)
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■(財)九州システム情報技術研究所

募集人員 研究員(常勤) 1名
所属 第2研究室
研究分野 コンテンツやネットワークなどにおける情報セキュリティ技術に関する分野(情報化社会の基盤技術に関する、新たな研究分野の開拓に意欲のある方、産学官連携活動に積極的な方を歓迎)
応募資格 上記分野の研究を遂行し得る研究実績や開発経験のある方、年齢40歳未満(平成19年4月1日現在)で、博士の学位を有することが望ましい
着任時期 決定後できるだけ早い時期(平成19年5月の見込み)
応募締切 平成19年3月30日(17:30必着)
送付先/照会先 〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-1-22 (財)九州システム情報技術研究所(ISIT) 福岡SRPセンタービル7階 総務部 菊田・福田・田中 E-mail:saiyou@isit.or.jp Tel(092)852-3450 Fax(092)852-3455
その他 【雇用形態】期限付雇用(年度ごと更新可)
詳細は当研究所Webページ(<http://www.isit.or.jp>)をご覧ください

■静岡県立大学経営情報学部

募集人員 教授または助教授 2名
所属 経営情報学部および経営情報学研究科を兼担
専門分野 応用情報学または情報工学(1名)、経営情報システムおよびその関連分野(1名)
担当科目 学部:1名は数理系科目、もう1名は経営情報システム概論などから応募者(採用者)の専門性を考慮
大学院:情報・数理系科目
応募資格 博士の学位を有すること(国籍は問わない、日本語で講義ができること)、学部・大学院で教育・研究を行う能力と熱意を有し、将来においても優れた研究成果をあげられる方
着任時期 平成19年7月1日(ただし、応募者(採用者)の都合により、着任時期を延期することも考慮します)
提出書類 履歴書(学歴・職歴・受賞・資格などについて記載)、研究業績リスト(様式自由、各業績のアブストラクトを含めること)、主要論文または著書(5編まで、コピー可)、これまでの研究概要(A4用紙横書き、2枚程度)、着任後の研究・教育についての抱負(A4用紙横書き、1枚程度)、競争的資金の獲得状況(最近5年間)、応募者に関する参考意見を伺える方の氏名・所属および連絡先(2名)
応募締切 平成19年3月30日(17:00必着)
送付先 〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学事務局学務スタッフ(経営情報学部担当)学務主幹 堀池直美
郵送の場合:「数理・情報系教員応募」または「情報系教員(経営情報システム)応募」と朱書き簡易書留
照会先 【公募全般に関すること】事務局学務スタッフ(経営情報学部担当)学務主幹 堀池直美 E-mail:gakukei@u-shizuoka-ken.ac.jp
Tel(054)264-5008 Fax(054)264-5299
【専門分野および担当科目に関すること】経営情報学部教授 鈴木直義 E-mail:suzukina@u-shizuoka-ken.ac.jp
Tel(054)264-5241

■苫小牧工業高等専門学校情報工学科

募集人員 准教授 1名 (「学校教育法の一部を改正する法律」の施行に伴う平成19年4月1日から適用の職名)
 専門分野 情報工学
 担当科目 情報基礎, プログラミング, データベース, ソフトウェア工学, システム工学, 卒業研究, 情報工学実験, 電子・生産システム工学専攻における情報システム設計, 特別研究, 特別演習, 特別実験
 応募資格 年齢28～40歳で, 着任までに博士の学位を有する方か技術士(情報工学)の資格を有する方, および第一種情報処理技術者相当以上の情報処理技術者試験に合格されている方で, 以下のいずれかのシステム開発の経験がある方
 企業内情報処理システム, Webアプリケーションシステム, 組み込みシステム
 着任時期 平成19年7月1日以降の早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(著書, 論文など), 研究・開発などの履歴リストおよび研究・開発などの概要, 教育業績リスト, 著書・論文などの原本およびそのコピー, 高専教育に対する抱負, 情報処理技術者試験合格証書のコピー(1部), 本人について参考意見を求める場合の相手方, その他
 応募締切 平成19年4月20日(17:00 必着)
 送付先 〒059-1275 北海道苫小牧市字錦岡443 苫小牧工業高等専門学校庶務課人事係 「情報工学科教員公募」と朱書き簡易書留
 照会先 情報工学科 学科長 森 重雄 E-mail:mori@jo.tomakomai-ct.ac.jp Tel(0144)67-8935 (ダイヤルイン)
 その他 詳細は本校Webページ (<http://www.tomakomai-ct.ac.jp/>)を参照ください

■三重大学大学院工学研究科電気電子工学専攻

募集人員 教授 1名
 所属 電気システム工学講座
 専門分野 電子設計システム分野(集積回路の設計とテスト, 組み込みシステムなどの電子設計システム)
 応募締切 平成19年4月27日
 送付先/照会先 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 三重大学大学院工学研究科電気電子工学専攻 平成19年度専攻長 遠藤民生
 「教員応募書類在中」と朱書き書留 E-mail:endo@elec.mie-u.ac.jp Tel(059)231-9400
 その他 詳細情報は (<http://www.mie-u.ac.jp/jinji/teacher.html>)を参照ください

■愛媛大学理工学研究科電子情報工学専攻

募集人員 助教 1名
 所属 情報工学コース応用情報工学講座
 専門分野 科学技術計算とネットワーク関連分野
 担当科目 情報工学実験など(将来, 上記分野の科目を担当していただく予定です)
 応募資格 学位:博士またはPh.Dの学位を有するか, 平成19年9月30日までに取得見込みの方 年齢:満33歳程度までの方
 実績・能力:専門分野において優れた研究業績を有する方, 教育, 研究と組織の運営に熱意を持ち, 情報工学コースの教育用計算機システムの管理を担当できる方
 着任時期 平成19年10月1日
 提出書類 履歴書(市販のもの, 連絡先にE-mailアドレスを記入), 業績リスト(学位論文, 著書, 査読付き学術雑誌論文, 査読付き国際会議論文, その他の論文, 解説, 総説, 特許, 学会賞などの受賞, 科学研究費などの研究助成の取得状況, 教育業績, 学会および社会における活動などに区分), 主要論文別刷(3編以内, コピー可), これまでの研究概要と今後の研究計画・抱負(1500字程度), これまでの教育経験と教育面での抱負(1000字程度), 応募者について所見を求め得る方3名の氏名・役職・連絡先, そのうち1名の推薦書 *提出書類の書式に関する参考資料を下記メールアドレス宛にご請求ください
 応募締切 平成19年4月30日
 送付先/照会先 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻情報工学コース コース長 天野 要
 E-mail:amano@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-9966 Fax(089)927-9973 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 *応募書類は返却いたしません
 その他 【任期】5年, 再任有(原則3年)
 【面接審査】書類審査の後, 面接を行います
 情報工学コースWebページ (<http://www.cs.ehime-u.ac.jp/>)

■岩手県立大学ソフトウェア情報学部およびソフトウェア情報学研究所

募集人員	准教授または講師 1名
専門分野	コンピュータネットワーク、ネットワークセキュリティに関する分野
担当講座	コミュニケーション学講座
担当科目	学部の「情報ネットワーク実践論」、「セキュリティ論」、「情報メディア入門」、「コンピュータシステム序論」および大学院の「情報セキュリティ特論I」ならびに修論・博論指導、このほか講座内の学部学生への演習においてネットワーク実験およびJAVA言語によるネットワークプログラミングの指導
応募資格	次の条件を満足する方：博士の学位を有する方、大学院博士課程の研究教育指導が担当でき、情熱を持って教育・研究・学生指導にあたる方、年齢37歳未満の方
着任時期	平成19年10月1日以前のできるだけ早い時期
提出書類	履歴書（学歴、職歴、学会活動、受賞歴などを含む）、研究業績リスト（著書、学位論文、学術雑誌論文、国際学会論文などに分類）、学位論文（コピー可）、主要著書・学術論文別刷（コピー可）と学位取得証明書、教育に関する業績および教育に関する見解（1000字程度）、参考となる意見を伺える方2名からの推薦書と連絡先
応募締切	平成19年5月31日（17:00 必着）
送付先	〒020-0193 岩手県滝沢村滝沢字菓子152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部長 菅原光政 「コミュニケーション学講座教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
照会先	ソフトウェア情報学部事務室 E-mail:softjimu@ml.iwate-pu.ac.jp Tel(019)694-2500（ダイヤルイン）
その他	選考にあたっては書類・業績審査の後、面接を実施し、決定いたします。選考結果は応募者ご本人に通知します

■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科

募集人員	教授または准教授 1名
所属	情報処理学専攻画像情報処理学講座
専門分野	画像情報・コンテンツの新展開（解析・分析・認識・理解・合成、感性工学、VR、セキュリティへの応用など）
応募資格	博士の学位を有し、上記分野の教育および研究に熱意を有する方。新進気鋭の方を歓迎します
着任時期	平成19年10月1日以降（任期10年、再任あり）
提出書類	履歴書、研究歴、研究業績リスト（著書、学術論文、国際会議などに区分）、主要論文別刷（5編程度、コピー可）、主たる研究概要（2000字程度）、今後の研究計画（2000字程度）、教育に対する抱負（2000字程度）、推薦書2通（または照会者2名の氏名・連絡先）
応募締切	平成19年5月31日
送付先	〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 研究科長 島津 明
照会先	情報システム学専攻主任 日比野靖 E-mail:hibino@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1270（直通）
その他	【選考方法】これまでの業績および必要に応じ照会者の意見を参考に選考いたします。業績については、学会論文の数などによらず、主要な業績の内容、内外の評価などを考慮します。また、業績については論文だけでなく、産業技術上の貢献についても評価いたします。なお、評価が同等の場合、女性、外国人を優先します。選考の途中で、提出いただいた資料に関する説明や、講演などをお願いすることがあります 詳細はWebページ（ http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/ ）を参照ください

- C-5 ※ディペンダブルコンピューティング (DC)
- C-6 ※リコンフィギャラブルシステム(RECONF)
- D:データベース
 - D-1 ☆データベースシステム(DBS)
 - D-2 ☆情報学基礎(FI)
 - D-3 ※データ工学(DE)
- E:自然言語・音声・音楽
 - E-1 ☆自然言語処理(NL)
 - E-2 ☆音声言語情報処理(SLP)
 - E-3 ☆音楽情報科学(MUS)
 - E-4 ※言語理解とコミュニケーション(NLC)
 - E-5 ※音声(SP)
- F:人工知能・ゲーム
 - F-1 ☆知能と複雑系(ICS)
 - F-2 ☆ゲーム情報学(GI)
 - F-3 ※人工知能と知識処理(AI)
 - F-4 ※情報論的学習理論(IBIS)
- G:生体情報科学
 - G-1 ☆バイオ情報学(BIO)
 - G-2 ※ニューロコンピューティング(NC)
 - G-3 ※MEとバイオサイバネティクス(MBE)
 - G-4 ※医用画像(MI)
- H:画像認識・メディア理解
 - H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)
 - H-2 ※パターン認識・メディア理解(PRMU)
- I:グラフィクス・画像
 - I-1 ☆グラフィクスとCAD(CG)
 - I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)
 - I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング(EC)
 - I-4 ※画像工学(IE)
- J:ヒューマンコミュニケーション&インタラクション
 - J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)
 - J-2 ※異文化コラボレーション(IC)
 - J-3 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)
 - J-4 ◇ヒューマン情報処理(HIP)
- K:教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
 - K-1 ※教育工学(ET)
 - K-2 ※サイバーワールド(CW)
 - K-3 ◇マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)
 - K-4 ◇福祉情報工学(WIT)
- L:ネットワーク・セキュリティ
 - L-1 ☆分散システム/インターネット運用技術(DSM)
 - L-2 ☆高品質インターネット(QAI)
 - L-3 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)
 - L-4 ☆システム評価(EVA)
 - L-5 ※ネットワークロボット(NR)
 - L-6 ※情報通信システムセキュリティ時限(ICSS)
- M:ユビキタス・モバイルコンピューティング
 - M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)
 - M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム(UBI)
 - M-3 ☆モバイルコンピューティングとユビキタス通信(MBL)
 - M-4 ☆高度交通システム(ITS)
 - M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)
 - M-6 ※ユビキタスコンピューティング時限(UBIC)
- N:教育・人文科学
 - N-1 ☆コンピュータと教育(CE)
 - N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)
 - N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)
- O:情報システム
 - O-1 ☆情報システムと社会環境(IS)
 - O-2 ※オフィスインフォメーションシステム(OIS)
 - O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)

〔使用言語〕

日本語または英語

〔論文ページ数・講演時間〕

論文ページ数は査読付き論文、一般論文とも 2~4 ページです。なお、3 ページ目以降はエキストラページとなります。

論文ページ数: 2~4 ページ

講演時間: 1件 20 分(発表時間 15 分, 質疑時間 5 分)

〔講演使用機器〕

査読付き論文、一般論文とも、PC プロジェクターとします。

〔講演者の資格〕

講演者の資格は以下のとおりです。

会 員	情報処理学会, 電子情報通信学会, 電気学会, 照明学会, 映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(KISS, 大韓電子工学会, IEEE/Com. Soc., IEEE/LEOS, IEEE/EDS, IEEE/CS)または情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM, IEEE, IEEE/CS, KISS, CSI)の個人会員に限ります。
非会員	上記の学会会員以外の方。

〔講演参加費(税込み)〕

講演参加費は、発表料、論文集 CD-ROM、プログラム、参加章の代金を含みます。なお、CD-ROM は FIT 開催前に講演者の方に送付しますが、プログラム、参加章は会場での引き渡しとなります。

また、登録申込み締切り後、講演の取消しをされても講演参加費等お申込み内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くこととなりますので御注意下さい。

正会員	10,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員(社会人)	20,000 円
学生非会員	12,000 円

〔エキストラページ費用(税込み)〕

エキストラページを利用された場合には、講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。

エキストラページ費: 3,000 円/ページ

〔別刷代(査読付き論文の採録者のみ)(税込み)〕

査読付き論文に採録された方には論文の別刷(100 部)を御購入頂きます。別刷代は、エキストラページの有無にかかわらず以下のとおりです。

別刷代: 20,000 円

〔講演者予稿分冊頒布〕

講演者には、御自身の論文が掲載されている講演論文集を 1 部に限り、6,000 円で、講演申込み時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお、講演論文集の一般販売は、個人購入の場合 1 部 10,000 円、団体購入の場合 15,000 円となります。

〔最新情報確認のお願い〕

FIT2007 に関する最新情報は、標記の FIT2007 公式サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。

ご意見をお寄せください！

【4月10日頃までにお出しください】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4803.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

1. ご氏名
 2. ご所属 Tel. () -
 3. E-mail:
 4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
 5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
 6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
 7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 7-
 8. あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8-
 9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
 10. 今月号 (2007年3月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a…大変参考になった b…よい c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 特集：社会に向き合うエージェントシステム
1. Webの進化とエージェント、セマンティック Web 10-1-
 2. インターネットオークションとメカニズムデザイン 10-2-
 3. RoboCupSoccer と RoboCupRescue 10-3-
 4. ビデオゲームに浸透するエージェント技術 10-4-
 5. 生命的エージェントによるインタフェース/メディア 10-5-
 6. コピキタス環境で活躍するエージェント 10-6-
 7. 社会シミュレーションと参加型デザイン 10-7-
 8. パネル討論：エージェントの社会的インパクト 10-8-
 - 「情報学を創る」- 科研プロジェクトがめざしたもの：人間の情報処理の理解とその応用に関する研究 10-9-
 - 標準化よもやま話：情報技術分野の標準の Web での無償公開 10-10-
 - これからの情報処理学会：社会に存在感ある学会として 10-11-
 - これからの情報処理学会：学会が社会にできること、社会が学会にできること 10-12-
 - 研究会千夜一夜：コンピュータビジョンとイメージメディア (CVIM) 研究会 10-13-
 - オープンソース事情：自由ソフトウェア活動を続ける 10-14-
 - オープンソース事情：連載を終わって 10-15-
 - グリッドと SOA からみる Web サービス標準技術：SOA の中核技術としての BPEL 入門 (2) BPEL での変数の定義と代入 10-16-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
 12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

1月にインドで人工知能国際会議(IJCAI 2007)があった。その往路、デリーに立ち寄り、郊外で大渋滞に遭遇した。信号機が壊れているのだ。米国なら、信号が壊れたときには、1台1台交互に交差点を渡るというルールがある。日本のルールは知らないが、信号は減多に壊れないし警察がすぐ出動するので問題ない。さて、インドで信号が壊れると大変だ。四方からトラック、乗用車、小型のリクシャーが殺到し、交差点はぎちぎちに詰まってしまう。助手席のガイドは降りて、身を挺して車

の進行方向に空間を確保しようとするが、他の車に撥ねられたりするから命がけだ。

その数日後、IJCAIで、米国の研究チームが信号無しの交差点を提案していた。交差点に差し掛かった車同士が無線でネゴシエーションをすると、信号がない方が効率がよいらしい。本当なのだろうか。社会シミュレーションの結果を解釈するには、世界を旅する必要があるようだ。

(石田 亨/本特集エディタ)

次号(4月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」ICタグと医療環境

ワイヤレス情報通信としてのICタグ/医療情報システムとICタグの活用—医療情報の視点から—/病棟での個体情報管理とICタグ—病棟看護の視点から—/手術現場での手術用器材の情報管理とICタグ/医用機器へのICタグの応用例/アクティブ型ICタグの医療環境への応用—移動方向検知無線システム—/医療分野におけるRFID(ICタグ)と国際標準化の動向

解説

ストレージエリアネットワークの動向 藤田智成

連載 グリッドとSOAからみるWebサービス標準技術/これからの情報処理学会/「情報学を創る」—科研プロジェクトがめざしたもの

コラム 研究会千夜一夜/標準化よもやま話

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集中!!

今一番新しい研究分野は何か?

IT時代をリードしたい!

そうだ、情報処理学会に入る!



申込/照会先 社団法人 情報処理学会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先:(中法)学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600



FIT2007 講演募集案内
第6回情報科学技術フォーラム

公式サイト <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2007/>

【会期】2007年9月5日(水)～7日(金)

【会場】中京大学 豊田キャンパス
(愛知県豊田市貝津町床立 101)

情報処理学会(IPSJ)と電子情報通信学会情報・システムソサイエティ(ISS)並びにヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT:Forum on Information Technology)」を開催しており、2007年9月には第6回目を中京大学豊田キャンパスで開催します。

本フォーラムは、IPSJ 全国大会と ISS ソサイエティ大会との流れを汲むものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきており、前回の FIT2006 では 762 件の論文発表が行われました。

皆様の研究成果発表の場として、標記のとおり論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

また FIT の特徴の一つは、**船井ベストペーパー賞**、**FIT 論文賞**、**ヤングリサーチャー賞**からなるその論文表彰制度にあり、以下のようにまとめられます。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

<p>船井ベストペーパー賞</p>	<p>査読付き論文で採録された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の 5% を上限として優秀な論文を推薦し最終的に 10 件程度の論文を選定。選定された論文は、FIT の初日に行われる FIT 論文賞セッション(船井ベストペーパー賞選考会)において発表、その中から受賞論文 3 件 を選定。受賞論文には賞金 20 万円を船井情報科学振興財団より贈呈。</p>
<p>FIT 論文賞</p>	<p>上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを経て、FIT 論文賞セッション(船井ベストペーパー賞選考会)において発表、その中から受賞論文 7 件程度を選定。受賞論文には賞金 5 万円を FIT 推進委員会より贈呈。</p>
<p>ヤングリサーチャー賞</p>	<p>発表件数の 1.5%を上限として 2007 年 12 月 31 日現在で 33 歳未満の講演者(査読付き論文および一般論文)を対象に、優れた発表を選定。受賞者には賞金 3 万円を FIT 推進委員会より贈呈。</p>

【申込み主要日程】

■査読付き論文

[登録申込み/投稿受付開始]

平成 19 年 3 月 12 日(月)

[登録申込締切り/査読用原稿の投稿締切り]

平成 19 年 4 月 26 日(木) 15:00

[査読の採否結果通知]

平成 19 年 6 月 25 日(月)

[カメラレディ投稿締切り]

平成 19 年 7 月 6 日(金) 15:00

■一般論文

[登録申込み/投稿受付開始]

平成 19 年 5 月 1 日(火)

[登録申込締切り]

平成 19 年 6 月 1 日(金) 15:00

[カメラレディ投稿締切り]

平成 19 年 7 月 6 日(金) 15:00

【申込みの方法、注意事項】

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2007 公式サイトよりお願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。なお、会場数、会期日数など制約によりプログラム編成上、講演部門の変更を行うこともございますので予め御了承下さい。

【講演募集内容】

最近行った研究及び調査の報告、または成果を挙げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限りです。

論文の種類には、査読付き論文と一般論文があります。

【査読付き論文】

査読付き論文は、FIT 設立に伴い新たに導入された企画です。採録論文は「**情報科学技術レターズ(Information Technology Letters)**」として独立した講演論文集に掲載します。査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 4 ページに緩和された論文ページ数を活用して下さい。査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います。

※査読付き論文の募集を行わず一般論文のみの募集となる研究会があります。詳しくは「募集分野」の項を御覧下さい。

【一般論文】

論文ページ数・講演時間は、査読付き論文と同じですが、査読を行わない分、投稿締切りが約 2 か月遅くなります。

【募集分野】

以下の 15 の分野で論文の募集を行います。なお論文募集、査読付き論文の査読などは、情報処理学会の研究会と電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ(研究グループと時限研究会を含む))で進めます。各分野に対応する研究会は以下のようになります。

なお、☆は情報処理学会、※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループを示します。

【査読付き論文の募集は行わず一般論文のみの募集となる研究会がございますので御注意下さい。】

■は一般論文のみの募集となる研究会

●A:モデル・アルゴリズム・プログラミング

- A-1 ☆アルゴリズム(AL)
- A-2 ☆数理モデル化と問題解決(MPS)
- A-3 ☆プログラミング(PRO)
- A-4 ※コンピューテーション(COMP)

●B:ソフトウェア

- B-1 ☆ソフトウェア工学(SE)
- B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)
- B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)
- B-4 ☆デジタル・ドキュメント(DD)
- B-5 ※ソフトウェアサイエンス(SS)
- B-6 ※知能ソフトウェア工学(KBSE)

●C:ハードウェア・アーキテクチャ

- C-1 ☆システム LSI 設計技術(SLDM)
- C-2 ☆計算機アーキテクチャ(ARC)
- C-3 ☆組込みシステム(EMB)
- C-4 ※コンピュータシステム(CPSY)

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 社団法人情報処理学会
 発行部数 30,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 (株)精機通信社 (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*左記料金はポジフィルム納入による料金です。
 *版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *断切広告は上記料金の10%増です。ただし、表4は不可。
 *同封のサイズ・送付対象・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）(株)精機通信社宛にご請求ください。

■「情報処理」 48巻3号 掲載広告（五十音順）

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> インタフェース…………… 表4 | <input type="checkbox"/> 情報通信研究機構…………… 前付最終下 |
| <input type="checkbox"/> オーム社…………… 表2対向 | <input type="checkbox"/> ソフト・リサーチ・センター…………… 前付最終上 |
| <input type="checkbox"/> 共立出版…………… 表3 | <input type="checkbox"/> 電子情報通信学会…………… 目次前上 |
| <input type="checkbox"/> 国立情報学研究所…………… 同封 | |
- すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ お名前	_____		
勤務先	_____ 所属部署		
所在地	(〒 _____)	_____	
	TEL (_____)	-	FAX (_____)
ご専門の分野	_____		



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 (株) 精機通信社

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20～50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)



NTTコムウェア
NTTコムウェア (株)



(株) NTT ドコモ



日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)

OKI

沖電気工業 (株)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立アドバンスデジタル

Panasonic
ideas for life

松下電器産業 (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約90名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375